

令和7年度 第1回君津市在宅医療・介護連携推進協議会

日時 令和7年6月25日(水)

午後7時～午後8時30分

会場 君津市役所 6階災害対策室

1 開会

2 委嘱状交付

3 挨拶

4 委員及び事務局職員紹介

5 議事

- ・会長及び副会長の選出

6 議題

- ・協議事項

(1) 君津市在宅医療・介護連携推進事業について

在宅医療・介護連携推進にむけての短期目標及び取り組み

(2) 医療・介護関係者の研修について

(3) 地域住民への普及啓発について

- ・報告事項

(4) 地域の医療・介護の資源の把握について

(5) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援について

(6) 医療・介護関係者の情報共有の支援について

(7) 認知症初期集中支援チームについて

7 その他

(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

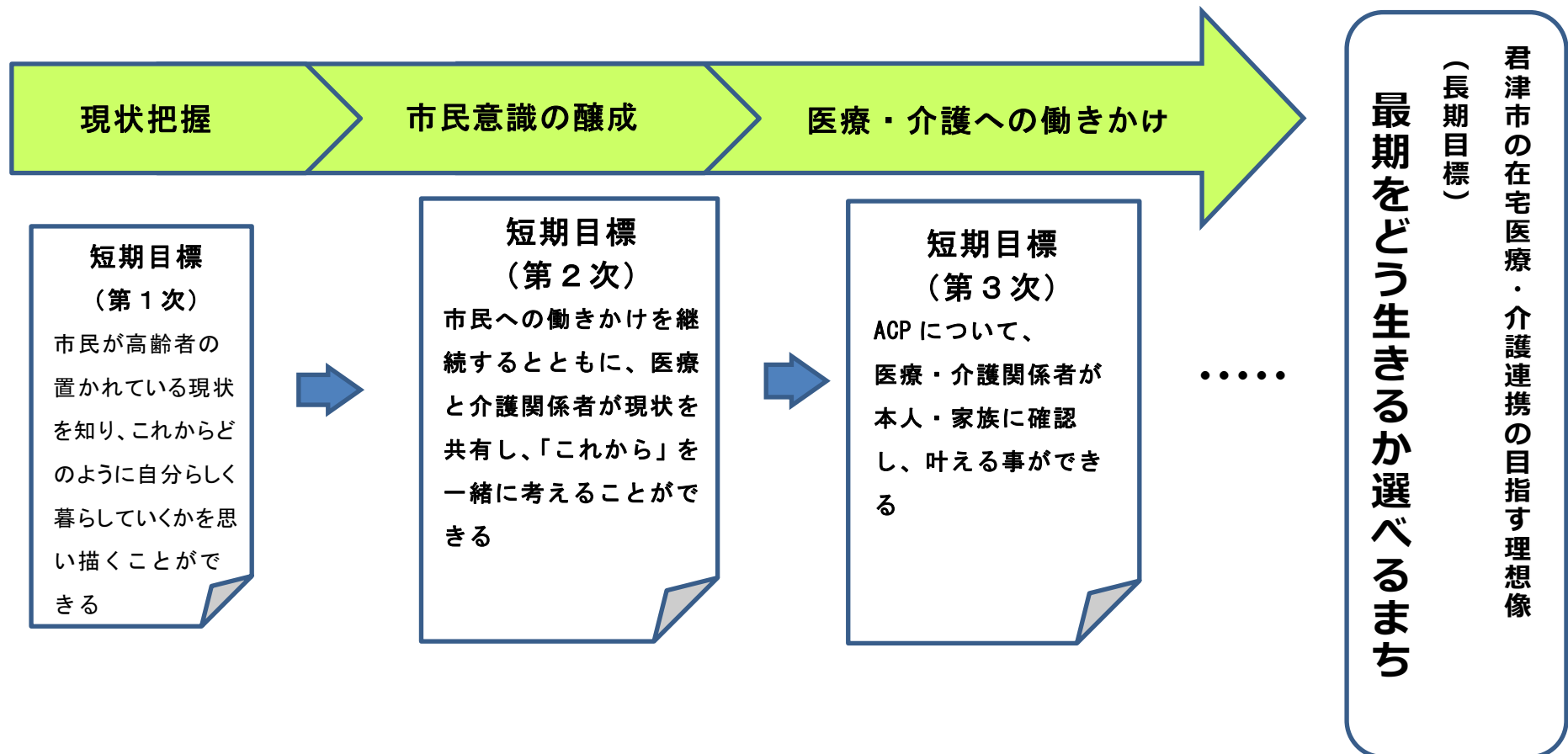
8 閉会

議題 1

在宅医療・介護連携推進における短期目標について

- 1 在宅医療・介護連携推進にむけての短期目標（第2次）の評価を行い、実際に地域の医療・介護関係者にそれだけの能力があるのか、また社会資源を整理しつつ、前向きな短期目標を設定するようにご意見をいただきました。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を迎え、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるために、長期目標に向け、第3次短期目標を提案します。



議題 2

医療・介護関係者の研修について

1 目 的 高齢者の在宅療養や在宅介護を支援するために多職種が一堂に会し、連携体制を構築することにより、効果的な医療介護サービスの提供を目指す。

2 目 標 多職種が在宅療養に関する情報を共有し、共通認識を持つ。

3 今年度について（案）

（1）日 時 令和7年11月11日（火） 18：30～20：00

（2）会 場 ふれあい館1階 集団指導室

（3）対象者

君津市内で活動している方

	職種	連絡先
1	医師	君津木更津医師会
2	歯科医師	君津木更津歯科医師会
3	薬剤師	四市薬剤師会 及び 君津部会
4	看護師	君津市内の訪問看護ステーション
5	リハビリ関係者	君津圏域PT・OT・ST連絡協議会
6	ソーシャルワーカー	君津市内の入院病床のある地域連携室等
7	介護支援専門員	君津市介護支援専門員協議会
8	介護、福祉関係者	君津市介護事業者協議会
9	地域包括	市内の地域包括支援センター

（4）内 容「ACP（人生会議）について」

①講演

60分

- ◆ 在宅診療について
- ◆ 終末期の在宅医療と介護の連携（事例含む）

講師：コンフォート君津クリニック 院長 中田 真司 氏

②グループワーク

20分

各職種の役割の共有と意見交換

③質疑・応答

10分

議題 3

地域住民への普及啓発について

1 目 的

地域住民が在宅医療と介護連携の理解を深め、自分や家族が健康なときから在宅医療・介護が必要になった場合を考える機会となることを目的とする。

2 昨年度の取り組み内容

令和6年度

「人生会議ってなあに？～元気うちに準備できること～」

◆ 第1部 「自筆証書遺言書保管制度について」

講師：千葉地方法務局木更津支局 総務課長 秋葉 修氏

◆ 第2部 「人生会議ってなあに？～気軽に人生会議をしてみよう～」

- ・支援者からの体験談 小糸・清和地域包括支援センター 近藤看護師
- ・人生会議リーフレット記入

参加者：73人

- ◆ 70歳代が最も多く、次いで60歳、80歳だった
- ◆ アンケート回答者の66%が人生会議を必ずする・しようと思うという回答だった

3 今年度について（案）

今年度も引き続き、希望する最期を迎えるための準備として、人生会議等について講演会を開催する。

1) 開催日時 令和7年10月28日（火） 13：30～15：00

2) 場 所 君津市立中央図書館 視聴覚室

3) 対 象 者 君津市民(市内在勤含む)

4) 講演内容

第1部 講師：コンフォート君津クリニック 院長 中田 真司 氏

- ・人生会議について～看取り経験から～
- ・在宅医療について
- ・質疑応答

第2部 君津市の資源について

地域の医療・介護の資源の把握について

1 目 的

- (1) 地域の在宅医療・介護連携の現状を理解し、医療・介護関係者の連携支援に関する課題解決策の検討に活用するとともに、医療・介護関係者がそれぞれの役割等について理解を深める。
- (2) 地域の医療・介護関係者の連携に必要な情報を提供することにより、地域の医療・介護関係者が照会先や協力依頼先を適切に選択・連絡できるようにする。
- (3) 地域の医療・介護の資源に関して把握した情報を活用して、地域住民の医療・介護へのアクセスの向上を支援する。

2 内 容

以下の調査機関について、対応地区、提供内容、時間、料金等、必要な情報を収集し、分野ごとに一覧表形式で整理する。

<調査機関>

医療機関	病院・診療所・歯科医院・薬局 ※「ちば医療なび」より収集
介護保険事業所・施設	居宅介護支援事業所、通所介護、訪問介護・看護、施設介護サービス、福祉用具事業所 等
介護保険外施設	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、ケアハウス、養護老人ホーム 等
民間事業所 等	相談窓口、移送サービス、配食サービス、見守りサービス、家事手伝い、入浴サービス 等

3 運用開始

令和3年度より活用を開始

4 リストの配布先

君津市各地域包括支援センター、公民館、市内居宅介護支援事業所、小規模及び看護小規模多機能型居宅介護事業所、第1層、第2層生活支援コーディネーター、地域ケア会議助言者、在宅医療・介護連携推進協議会委員

5 令和6年度の実績

情報の追加や修正等、更新を行った。

6 令和7年度の計画

令和7年4月版の配布。適宜、情報の更新を行う。

議題 5

在宅医療・介護関係者に関する相談支援について

1 目的

医療介護連携サポート窓口（相談窓口）を設置し、地域の医療・介護関係者から在宅医療・介護連携に関する相談を受け付け、連携調整、情報提供等により支援する。

2 設置場所 市内4か所

地域包括支援室、中部地域包括支援センター、小糸・清和地域包括支援センター
東部地域包括支援センター

3 医師会の支援体制

医療に関する相談について、医師参加型の相談支援体制として、四市8名の地域相談サポート医を指定。月1回、地域相談サポート医が集まり「医療相談検討会議」を開催、医療・介護関係者へ助言や情報提供等を行う。

4 対象者 医療関係者・介護関係者

5 事業開始時期 平成30年11月1日

6 周知方法 在宅医療・介護連携多職種研修会 各地域包括支援センター相談窓口、ホームページ

7 基本的な相談の流れ

- ① 相談窓口は、医療・介護関係者から医療・介護に関する相談を受ける。困難ケース等は、相談シートを作成する。
- ② 地域相談サポート医の支援が必要な相談は、地域包括支援室が取りまとめ、地域相談サポート医に相談シートを提出する。
- ③ 地域相談サポート医が相談内容を精査する。すぐに対応できる内容については、「簡易相談」「初期対応」として対応。他の案件については、「難事例」として認定する。受診を拒否する対象者については、地域相談サポート医の訪問相談支援についても検討する。
- ④ 「難事例」判定を受けた相談を四市8名の地域相談サポート医へ送付。毎月第3木曜日の午後、医師会にて地域相談サポート医による、「医療相談検討会議」を開催し、相談対応を行う。
- ⑤ 対応結果を記載した相談シートを医師会事務局から地域包括支援室に提出する。地域包括支援室は、当該相談窓口へ返送する。

8 相談件数（令和6年度）

(1) 実件数 130件 延べ件数 426件

(2) 地域相談サポート医への相談 簡易相談・初期対応 2件 難事例 1件

【内訳】

地域包括支援室	実22件	延59件
中部地域包括支援センター	実48件	延206件
小糸・清和地域包括支援センター	実35件	延41件
東部地域包括支援センター	実25件	延120件

9 相談内容

相談者	件数	介護保険申請状況	相談内容
医師・薬剤師・保健師・看護師・理学療法士・医療事務・医療相談員	129件	未申請・申請中 75件 認定あり 53件 不明 1件	・退院後の環境整備 ・介護サービスの調整 ・受診を拒否する人への対応 ・受診に関する対応 等
地域包括支援室	1件	未申請 1件	・介護サービスの調整

10 令和7年度の計画

- ・医療関係者・介護関係者への周知
- ・君津圏域在宅医療・介護連携推進事業（広域）四市担当者会議

1 目 的

患者・利用者の在宅療養生活を支えるために、患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われるよう、情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備する。

2 内 容

○君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集

令和2年度より四市共通の連絡連携シート「君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集」を「君津市医療情報一覧」と合わせて市内の居宅介護支援事業所に配布し運用を開始。

令和4年度に四市で内容を見直し、看取りに関する項目とICTの活用に関する項目を追記した。

○君津圏域多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）利用の手引き

令和3年度から君津木更津医師会が中心となり、千葉県の補助を受けて情報共有システムであるバイタルリンク（帝人ファーマ株式会社）が導入されている。

医療・介護関係者間でバイタルリンクの使用が広まるように、令和4年度に四市で新規に手引きを作成した。

3 令和6年度の実施内容

令和6年7月26日に「君津四市高齢者福祉施設連絡協議会」の総会でバイタルリンクの説明を行い、活用について周知した。

市内の入院設備がある医療機関にバイタルリンクを活用した空床情報の共有について依頼をし、機能を整えた。（共有するための部屋を作成）

4 今年度の実施内容

四市共通の「君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集」及び、「君津圏域多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）利用の手引き」を市のホームページに掲載し、引き続き周知を図る。

バイタルリンクについて直営の包括のみならず委託している地域包括支援センターも管理者として運用を開始し、効果的な活用について検討していく。

1 目 的

認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制をつくる。

2 実施方法

地域包括支援センターに寄せられた、認知症に関する相談の中から、家族の訴えなどにより、認知症が疑われる人などを複数の専門職が訪問し、本人と家族が安心して生活できるように、おおむね6か月間、集中した支援を行う。

3 チーム員構成

専門医	玄々堂君津病院 永瀧嘉嗣医師（認知症サポート医）
専門職	君津市地域包括支援室 保健師2名、社会福祉士1名、主任介護支援専門員2名

4 活動状況

平成29年1月から活動開始

【令和4年度】

チーム員会議 10回

【令和5年度】委嘱状交付

チーム員会議 3回

【令和6年度】

チーム員会議 7回

【令和7年度】

チーム員会議 毎月1回実施予定

5 認知症初期集中支援チームの対象者

- ・認知症が疑われるか、診断されていても、介護サービスにつながっておらず、家族等が対応に困っている事例
- ・日常生活に支障をきたすなどで認知症が疑われるが、受診を頑なに拒否している事例
- ・初期とは、認知症の進行度として早い段階という意味合いだけでなく、認知症の人への関わりの初期と言う意味も持ち、認知症がある程度進行している人であっても医療や介護サービスを受けていない人も含まれる。

6 事 例

7 効 果

- ・医師を含めて検討を行えることにより、医学的な意見を聞くことができる。
- ・チームで関わることにより、多職種の視点でアプローチの方法を見出すことができる。

8 現 状

他者の関わりを拒否しているケースが多く、関係性を築くところから始めるケースが多い。チームとして関わっても必ずしも解決につながるとは限らず、ご本人の状況の変化（入院する等）がなければ導入につながらないことがある。

9 課 題

- ・家族は困っているが、本人に病識がないことから、支援を拒否する場合がある。
- ・家族が本人の認知症を受け入れられず、協力が得られないことがある。
- ・初期の認知症の場合、本人も家族も自覚していないからか、なかなか相談ケースとして上がってこず、症状が重症化して初めて相談ケースとして上がってくる。
- ・対象になりそうなケースでも、家族がいない方が多く、本人の同意が取れずに初期集中支援チームの対象ケースとしてあげられない場合がある。
- ・認知症の方の相談はあったが、タイムリーな支援が求められ、総合相談にて対応し、初期集中支援チームの対象にならないケースがある。

君津市在宅医療介護連携推進事業

Act (改善)

地域の目指す理想像：切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築 ← 第8期介護保険事業計画期間からの在宅医療介護連携推進事業の在り方図
～看取りや認知症への対応を強化～

Plan (計画)

Plan (計画)		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
① 現状分析・課題抽出・施策立案	(1)	(ア) 地域の医療・介護サービス資源の把握	市内医療機関の協力を得て、「医療機関における在宅医療等実施状況一覧」を作成し、市内在宅介護支援事業所に配布	近隣対応可能な医療機関へ状況確認を行い、地域ケア会議の資料として配布。地域ケア会議を通じて各地域包括支援センターで社会資源マップを作成	病院・診療所・歯科・薬局へ再度確認を行い、平成30年7月、市内在宅介護支援事業所に配布	医療機関・サービス資源に関する情報更新のために調査を実施	君津市サービス資源リスト配布。医療機関等一覧表の配布	君津市サービス資源リストを情報更新し配布	君津市サービス資源リストを情報更新し配布	君津市サービス資源リストを情報更新し配布	君津市サービス資源リストを情報更新し配布
	(2)	(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	君津市在宅医療・介護連携推進協議会を設置。協議をどうするか選べるまち」を目標として、現状を共有し、課題の抽出と対応策を検討			多職種研修会にて課題の抽出を行う		・多職種研修会にて課題の抽出を行う ・第1次短期目標の評価を行い、第2次短期目標を設定			第2次目標の評価を協議会で実施。地域格差や限りがある社会資源でどういった医療や介護サービスが受けられるか終末期まで取り込み、前向きな短期目標を市民に提示していく
	(3)	(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進			4市のケアマネジャー協議会合同で「介護支援専門員と君津中央病院病棟看護部との連携・協働に関する意見交換会」を実施した	君津市介護支援専門員協議会を中心にケアマネジャーと君津病院に勤務する看護部との意見交換会を実施した			医療介護連携相談窓口で受け付けたケースで、早急な対応が必要な場合は、随時地域相談サポート医に相談	医療介護連携相談窓口で受け付けたケースで、早急な対応が必要な場合は、随時地域相談サポート医に相談	医療介護連携相談窓口で受け付けたケースで、早急な対応が必要な場合は、随時地域相談サポート医に相談
Do (実行)	(4)	(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援			医療介護連携サポート窓口（相談窓口）設置	案件数83件 うち地域相談サポート医へ提出3件	案件数64件 うち地域相談サポート医へ提出4件 ⇒1件が随事例判定アウトリリー判定	案件数56件 うち地域相談サポート医へ提出1件	案件数 106件 延べ件数 331件 うち地域相談サポート医へ提出 1件	案件数 140件 延べ件数 465件 うち地域相談サポート医へ提出 1件	案件数130件 延べ件数426件 うち地域相談サポート医へ提出1件
	(5)	(キ) 地域住民への普及啓発	市民向け医療講演会「元気なうちから知っておきたい在宅医療」講師：嶋田医院 嶋田宗彦医師	市民向け医療講演会「元氣なうちから知っておきたい認知症の次・食・住」講師：嶋田医院 嶋田宗彦医師 料理研究家 松崎永里子氏	市民向け医療講演会「市村在宅医療の現状について説明 「最期をどう生きるか選べるまち」をめぐって」在宅医療」講師：上越在宅診療所 重山勇医師	市民向け医療講演会「市村在宅医療について説明 「最期をどう生きるか選べるまち」をめぐって」在宅医療」講師：上越在宅診療所 重山勇医師	市民向け医療講演会中止	市民向け医療講演会中止	市民向け医療講演会中止 予定していた介護予防のテーマに泊った動画を成し市のホームページに掲載	市民向け医療講演会「介護予防と人生会議」第1部「介護予防で健康寿命をのばそう」講師：千葉中央病院 理学療法士 川根太氏 第2部「人生会議ってなに？～気軽に人生会議をしてみよう～」講師：千葉道方法務局末津支局 総務課長 榎本 修氏 第2部「人生会議ってなに？～気軽に人生会議をしてみよう～」講師：支援者からの体験談 東部地域包括支援センター 長谷川社会福祉士 人生会議チェックシート記入	市民向け医療講演会「人生会議ってなに？～元気なうちに準備できること～」第1部「自己証書遺言書保管制度について」講師：千葉道方法務局末津支局 総務課長 榎本 修氏 第2部「人生会議ってなに？～気軽に人生会議をしてみよう～」講師：支援者からの体験談 小糸・清和地域包括支援センター 近藤 善博氏 人生会議フリーフット記入
② 対応策の実施	(6)	医療介護関係者の情報共有の支援、知識の深め、研修などの地域の実情にに応じた医療・介護関係者の支援	地域の介護支援専門員を中心に、入退院時に「千葉県地域生活連携シート」の活用を進める		4市共用のエチケット集を作成	エチケット集の活用開始	情報共有ツールの活用開始 制の構築を医師会と四市行政で検討している		「君津圏医療・介護多職種連携エチケット集」普及、ICT追加 君津圏医療多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）利用の手引き」作成 多職種研修会での周知 医療・介護多職種連携エチケット集」等の周知	四市共通の「君津圏医療・介護多職種連携エチケット集」及び、「君津圏医療多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）」の総会でバイタルリンクの活用について、多職種研修会にて周知を行い、バイタルリンクの新規利用申請とケース情報提供を関係者で共有する周知をテーマに多職種での意見交換	「君津市四市高齢者福祉施設連絡協議会」の総会でバイタルリンクの活用について、多職種研修会にて周知を行い、バイタルリンクの新規利用申請とケース情報提供を関係者で共有する周知をテーマに多職種での意見交換
		(カ) 医療・介護関係者の研修	・医療と介護の連携の必要性や君津市の現状を説明 ・グループワーク形式で多職種事例検討会を実施	・専門職による講義（薬剤師・医療相談員）、医療と介護の連携の必要性や君津市の現状を説明 ・グループワーク形式で在宅医療・介護の連携の現状と課題をテーマに多職種での事例検討と同職種での情報共有	・専門職による講義（後見支援センター職員） ・君津市における在宅医療・介護連携推進事業について説明 ・在宅医療・介護の連携の現状と課題をテーマに多職種での意見交換	・専門職による講義（後見支援センター職員） ・君津市における在宅医療・介護連携推進事業について説明 ・在宅医療・介護の連携の現状と課題をテーマに多職種での意見交換	・専門職による講義（後見支援センター職員） ・君津市における在宅医療・介護の連携の現状と課題をテーマに多職種での意見交換	・専門職による講義（後見支援センター職員） ・君津市における在宅医療・介護の連携の現状と課題をテーマに多職種での意見交換	・専門職による講義（後見支援センター職員） ・君津市における在宅医療・介護の連携の現状と課題をテーマに多職種での意見交換	・専門職による講義（後見支援センター職員） ・君津市における在宅医療・介護の連携の現状と課題をテーマに多職種での意見交換	・専門職による講義（後見支援センター職員） ・君津市における在宅医療・介護の連携の現状と課題をテーマに多職種での意見交換
③ 対応策の評価・改善		Check (評価)									

総合事業など他の地域支援事業との連携

